

年 組 名前：

旅館「公設民営」で再生

かどや旅館を再生した宿泊施設「kadoya」。左側の旧別館にはコインランドリーを設置した。



かつて住民や観光客に親しまれた小菅村の「かどや旅館」が、宿泊施設「kadoya（かどや）」として再生した。村が改修費用を負担し、村が出資する「源」と県外2社が立ち上げた「EDGE」が運営する「公設民営型」。旧母屋に客室とカフェを整備。宴会場だった別館は、村民の要望に応え、コインランドリーを併設した。観光客と村民が集うスペースも設け、村は交流の場として期待する。

〈竹川元久〉

小菅 カフェやコインランドリーも 観光客と住民 交流期待

1階のカフェ。テーブルやイスには、かどや旅館当時の板材が使われている。川いすれも小菅村



村によると、建物は旧母屋の木造2階建てと別館の鉄筋コンクリート平屋の2棟。それぞれ増築し、総延べ床面積は630平方メートル。旧母屋の1階はカフェで、テーブルとイスには、旧旅館の板材を活用した。こだわりのコーヒーやパンなどの軽食が楽しめる。客室は2階で、フロリングで124人の人数別に計8部屋ある。男女別にシャワールームを計7室備えた。別棟には、洗濯乾燥機と乾燥機を各2台設置。奥にコワーキングスペースと子どもが遊ぶスペースも設けた。購入、設計、解体、本体工事など総事業費は3億2845万円。このうち国の補助金は1億4032万円、補助率42%。

村によると、かどや旅館は村の中心地に、1957年ごろ開業。客間は19室あり100人の宿泊客を収容している。

し、宴会や無尽を受け入れる二つの大広間や理容室もあり、村民に親しまれた。だが2019年に廃業。甲府地裁で建物、土地が競売にかけられ、村が1200万円で落札、購入した。村はプロポーザル式で指定管理者を公募し、EDGEを採用了。旅館の活用について、村民から意見を聞くワークショップを開き、高齢者からコインランドリーの要望が出た。

村民は5月下旬に披露、コインランドリーを開業した。6月15日にプレオープンし、カフェもスタート。7月18日にランドオープンする。村担当者は「ワークショップで村民が多くの思い出を語ってくれた。村にとって価値ある建物を生かし、村外の人と村民の交流が生まれることを期待している」として

(2026 年 7 月 11 日付 山梨日日新聞 18 面)

問1

小菅村の旅館が、生まれ変わりました。名称は、何から何に変わりましたか。

旧: 新:

問2

新たな施設には、住民からの要望で、何を併設しましたか。

.....

問3

村の担当者は、新たな施設が開業したことで、なにを期待していますか。

.....